

エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2024年1月～2024年12月

株式会社高木工業所



発行日2025年3月 5日

目次

①組織の概要	1
②対象範囲	1
③環境経営方針	2
④-1環境経営目標(三河3工場)	3
④-2環境経営目標(岩手一関工場)	4
⑤環境経営計画	5
⑥実施体制	6-7
⑦-1. 環境経営目標に対する実績 (三河3工場)	8
⑦-2. 環境経営目標に対する実績 (岩手一関工場)	9
⑦-1-1. 環境経営目標の実績、及び環境経営計画の取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画 (三河3工場)	10
⑦-2-1. 環境経営目標の実績、及び環境経営計画の取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画 (岩手一関工場)	11
⑧環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟 などの有無	12
⑨代表者による全体評価と見直し・指示	13

①組織の概要

- ・ 事業者名 株式会社高木工業所
- ・ 代表者名 代表取締役 高木 芳太郎
- ・ 設立 1968年11月
- ・ 資本金 3,772万円
- ・ 所在地 本社工場※ 〒473-0904 豊田市中町東中根50番地
高岡工場※ 〒473-0933 豊田市高岡町松葉128番地
額田工場※ 〒444-3449 岡崎市中伊西町湯ノ気田22番地
一関工場 〒029-0132 岩手県一関市滝沢字鶴ヶ沢86番地2
※三河3工場
- ・ 床面積 本社・工場 (4460㎡) ・高岡工場 (2003㎡) ・額田工場 (8413㎡)
一関工場 (17175㎡)
- ・ 環境管理責任者 業務部 竹本 光幸 (事務局兼務)
- ・ 連絡先 TEL0565-52-0266 fax0565-52-2444
- ・ 事業内容 自動車部品のプレス、溶接及び組立
- ・ 事業規模 売上高 9,326百万円 (2024年度) 三河3工場 5,243百万円
岩手一関工場 4,083百万円
従業員 270名
- ・ 生産設備 プレス (45 t ~800 t) 44台
CO2溶接ロボット 16台
マルチSP溶接機 14台
定置式SP溶接機 73台 等 } 三河3工場 + 岩手一関工場
- ・ HP <http://www.takaki-k.co.jp/>

②対象範囲

- ・ エコアクション2 1 対象範囲 (認証登録組織)
株式会社 高木工業所 本社工場、額田工場、高岡工場、一関工場
- ・ 対象活動は、事業内容と同じ
- ・ レポートの対象期間 2024年1月~2024年12月

③環境経営方針

環境理念

株式会社高木工業所は、社是『本を正して末を乱さず』を基に、品質とスピードの両立を掲げその事業活動において、環境負荷などを低減、環境に配慮した製品の提供、環境への負荷の削減、自然環境を次世代に引き継ぐことを企業の責任と考え、環境保全活動の継続的改善に取り組んでまいります

活動方針

環境理念に基づき、以下の活動を実行します

1. 環境関連法規、条例、その他の環境関連要求事項を遵守する
2. 資源、エネルギー及び、二酸化炭素排出量の削減に努める
3. 廃棄物の削減に努める
4. 水使用量の削減に努める
5. 化学物質の適正管理に努める
6. 製品の不具合低減に努める
7. 地域住民との対話を大切に、社会の一員として自覚と責任を持ち

地域に認められる環境保全活動を実行する

制定日 2015年4月1日

改定日 2019年3月26日

株式会社高木工業所

代表取締役

高木 芳太郎

④-1 環境経営目標（三河3工場）

環境経営方針の項目	取組項目		単位	2023年度実績* (基準)	目標（2024年度） 1%削減	目標（2025年度） 2%削減	目標（2026年度） 3%削減
二酸化炭素の排出 量削減	二酸化炭素排出量の削減	排出量	kg - CO2	1,290,665	1,277,758	1,264,852	1,251,945
		原単位	kg - CO2 /百万円	232	230	227	225
	電力の使用量削減	消費量	kWh	2,776,295	2,748,532	2,720,769	2,693,006
	ガソリンの使用量削減	消費量	L	2,147	2,126	2,104	2,083
	軽油の使用量削減	消費量	L	1,826	1,808	1,789	1,771
	灯油の使用量削減	消費量	L	2,672	2,645	2,619	2,592
一般廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (事務所・可燃ごみ)	排出量	kg	809	801	793	785
産業廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (廃油、廃プラ、木くずなど)	排出量	t	21.64	21.42	21.21	20.99
水使用量の削減	上水使用量の削減	消費量	m ³	6,667	6,600	6,534	6,467
客先不具合低減	不具合低減		件	10件未満	10	10	10

上記目標値は本社・工場、高岡工場、額田工場、3工場の合計値。

* 直近2023年の実績値をベースに設定。

電力の二酸化炭素の排出係数は、中部電力ミライズの2022年度の調整後排出係数の0.459kg - CO2/ k W h を使用した。

PRTR対象の化学物質の使用はない。

④-2 環境経営目標（岩手一関工場）

環境経営方針の項目	取組項目		単位	2023年度実績* (基準)	目標(2024年度) 1%削減	目標(2025年度) 2%削減	目標(2026年度) 3%削減
二酸化炭素の排出 量削減	二酸化炭素排出量の削減	排出量	kg - CO2	658,778	652,190	645,602	639,015
		原単位	kg - CO2 /百万円	159	157	156	154
	電力の使用量削減	消費量	kWh	1,689,143	1,672,252	1,655,360	1,638,469
	ガソリンの使用量削減	消費量	L	464	459	455	450
	軽油の使用量削減	消費量	L	191	189	187	185
	灯油の使用量削減	消費量	L	8,405	8,321	8,237	8,153
一般廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (事務所・可燃ごみ)	排出量	kg	526	521	515	510
産業廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (廃油、廃プラなど)	排出量	t	0.37	0.37	0.36	0.36
水使用量の削減	上水使用量の削減	消費量	m ³	848	840	831	823
客先不具合低減	不具合低減		件	10件未満	10	10	10

* 直近2023年の実績値をベースに設定。

電力の二酸化炭素の排出係数は、テプコの2022年度の調整後排出係数の0.390kg - CO2/ kWhを使用した。

PRTR対象の化学物質の使用はない。

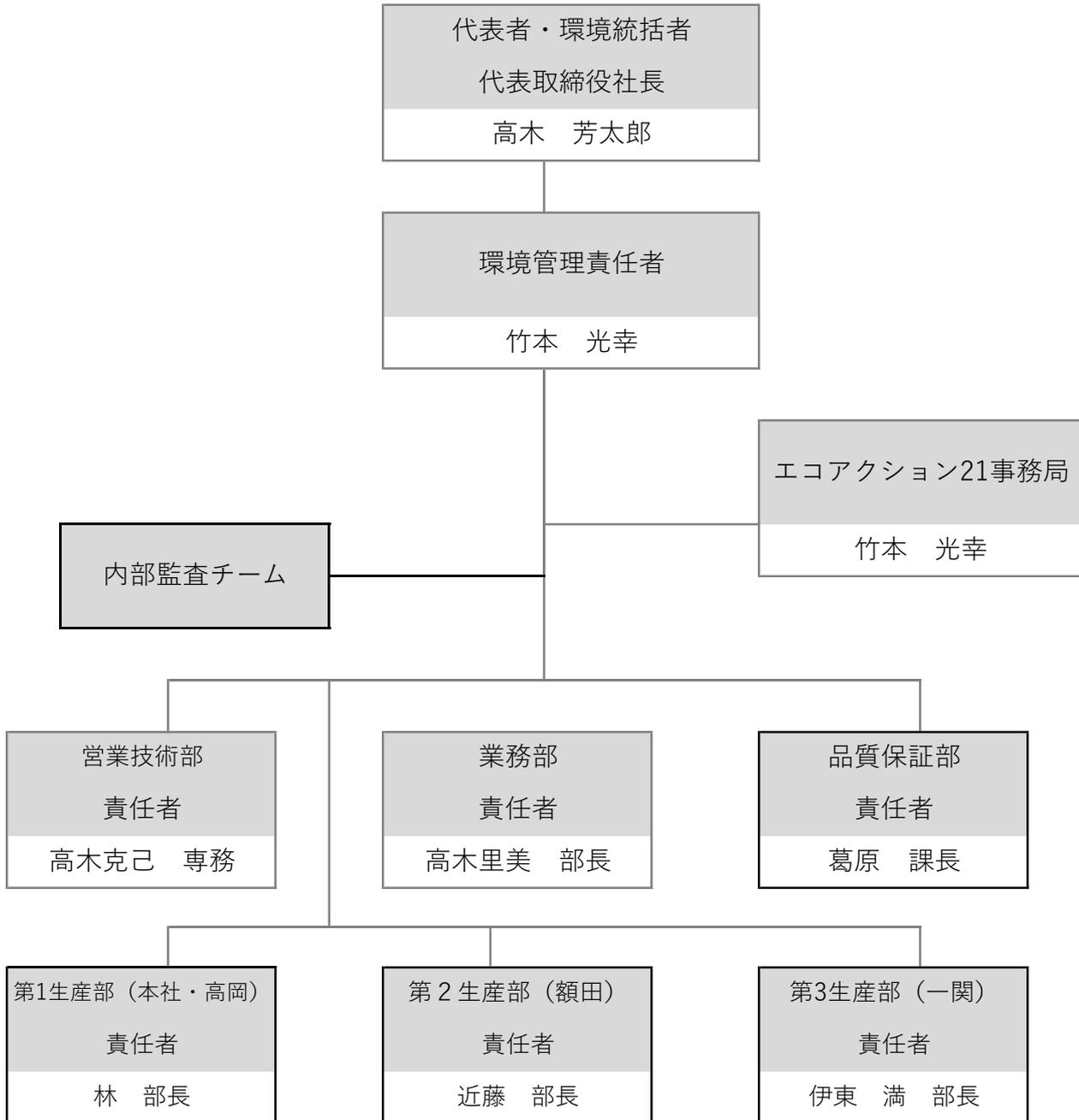
⑤環境経営計画

2024年度（取組期間 2024年1月～2024年12月）

環境経営方針項目	環境経営目標	取組内容	担当	取りまとめ
二酸化炭素 排出量の削減	電力の使用量削減 基準比1%の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要照明の消灯 事務機器不要電源を切る 空調温度夏28度、冬20度 不要設備の電源切る コンプレッサ圧、エア漏れチェック デマンド監視装置の監視 照明のLED化 	各工場 責任者	事務局
	ガソリンの使用量削減 基準比1%の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの徹底 アイドリングストップの実施 	各工場 責任者	事務局
	軽油の使用量削減 基準比1%の削減	<ul style="list-style-type: none"> エコ車両への切り替え リフトの電気への切り替え 外部不良削減 		
	灯油の使用量削減 基準比1%の削減	<ul style="list-style-type: none"> 使用期間限定 室内温度20℃（冬季限定） 	各工場 責任者	事務局
一般廃棄物の 排出量削減	可燃ごみ削減 基準比1%の削減	<ul style="list-style-type: none"> 紙ごみ、コピー用紙使用量の削減 	各工場 責任者	事務局
産業廃棄物の 排出量削減	廃棄物削減 基準比1%の削減	<ul style="list-style-type: none"> 分別による再資源化推進 マニフェスト管理票発行 	各工場 責任者	事務局
水使用量の 削減	上水使用量の削減 基準比1%の削減	<ul style="list-style-type: none"> 蛇口開放時の節水 漏水等の確認 	各工場 責任者	事務局
化学物質適正 管理	適正管理	<ul style="list-style-type: none"> 適正管理 	各工場 責任者	事務局
客先不具合 低減	不具合の削減 推進	<ul style="list-style-type: none"> 不良率低減 外部不良削減 内部不良削減 	各工場 責任者	事務局

⑥ 実施体制 組織図

2024年
2月1日



⑥ 実施体制 役割（実施内容）

<p>環境統括者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営システムの実施に必要な、人員、設備、費用を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境目標・環境活動計画書・環境経営レポートを承認 ・ 問題点の発見、是正、予防処置の確認及び評価 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施
<p>環境管理責任者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する ・ 環境経営システムの構築、実施及び運用管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を作成及び確認 ・ 環境目標・環境活動計画書・環境経営レポートの作成及び確認 ・ 環境経営方針、環境目標、環境活動計画、実施体制を従業員に周知 ・ 全従業員に対する教育・訓練の実施 ・ 環境外部コミュニケーションの窓口 ・ 問題点の発見、是正・予防処置の確認及び評価、代表者への報告 ・ 環境経営レポートの作成 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告
<p>環境事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 環境活動の実績データ等集計 ・ 環境経営システムの実施 ・ 環境経営方針の周知 ・ 関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境管理責任者への報告 ・ 問題点の発見、是正、予防処置の実施及び環境管理責任者への報告 ・ 環境関連法規の遵守状況の確認及び環境事務局管理責任者への報告 ・ 文書・記録の管理
<p>全従業員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的・継続的に環境活動へ参加

⑦-1環境経営目標に対する実績値（三河3工場）

環境経営方針の項目	取組項目		単位	2023年度実績* (基準)	目標(2024年度) 1%削減	実績 (2024年度)	評価
二酸化炭素の排出 量削減	二酸化炭素排出量の削減	排出量	kg - CO2	1,290,665	1,277,758	1,065,090	○
		原単位	kg - CO2 /百万円	232	230	203	○
	電力の使用量削減	消費量	kWh	2,776,295	2,748,532	2,499,203	○
	ガソリンの使用量削減	消費量	L	2,147	2,126	2,288	×
	軽油の使用量削減	消費量	L	1,826	1,808	509	○
	灯油の使用量削減	消費量	L	2,672	2,645	2,532	○
一般廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (事務所・可燃ごみ)	排出量	kg	809	801	814	×
産業廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (廃油、廃プラ、木くずなど)	排出量	t	21.64	21.42	35.53	×
水使用量の削減	上水使用量の削減	消費量	m ³	6,667	6,600	6,256	○
客先不具合低減	不具合低減		件	10件未満	10	10	○

上記目標値、実績値は本社・工場、高岡工場、額田工場、3工場の合計値。

* 直近2023年の実績値をベースに設定。

電力の二酸化炭素の排出係数は、中部電力の2022年度の調整後排出係数の0.459kg・CO₂/kWhを使用した。

PRTR対象の化学物質の使用はない。

2024年度 三河3工場売り上げ 5,243百万円

※ 原単位 = 総CO₂排出量 ÷ 売上

⑦-2環境経営目標に対する実績値（岩手一関工場）

環境経営方針の項目	取組項目		単位	2023年度実績* (基準)	目標(2024年度) 1%削減	実績 (2024年度)	評価
二酸化炭素の排出 量削減	二酸化炭素排出量の削減	排出量	kg - CO2	658,778	652,190	733,393	×
		原単位	kg - CO2 /百万円	159	157	181	×
	電力の使用量削減	消費量	kWh	1,689,143	1,672,252	1,797,532	×
	ガソリンの使用量削減	消費量	L	464	459	477	×
	軽油の使用量削減※	消費量	L	191	189	306	×
	灯油の使用量削減	消費量	L	8,405	8,321	2,828	○
一般廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (事務所・可燃ごみ)	排出量	kg	526	521	491	○
産業廃棄物の 排出量削減	廃棄物の排出量削減 (廃油、廃プラなど)	排出量	t	0.37	0.37	3.84	×
水使用量の削減	上水使用量の削減	消費量	m ³	848	840	983	×
客先不具合低減	不具合低減		件	10件未満	10	10	○

* 直近2023年の実績値をベースに設定。

電力の二酸化炭素の排出係数は、テプコの2022年度の調整後排出係数の0.390kg - CO2/kWhを使用した。

PRTR対象の化学物質の使用はない。

2024年度 一関工場売り上げ高4,083百万円

※ 原単位 = 総CO2排出量 ÷ 売上

⑦-1-1環境経営目標の実績、及び環境経営計画の取組結果とその評価、
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画（三河3工場）

環境経営方針の項目	達成結果	評価	実績値	次年度計画
二酸化炭素の排出量削減	○	三河地区の生産量が若干の減少。 暖冬の影響もあり、燃料消費が抑えられた トータルで、省エネを達成できた。 額田工場は石油ストーブの一部を廃止した。	総量 (k g -CO2) 1,065,090 原単位 (k g -CO2)/百万円 203	生産状況などの影響があるが 低減活動を継続する
一般廃棄物の排出量削減	×	コピー用紙の使用量が増加。	814kg	引き続き、低減活動を継続する
産業廃棄物の排出量削減	×	メンテナンスに伴い廃油が増加	35.53t	引き続き、低減活動を継続する
排水量の削減	○	目標達成できた。	6,256 m ³	引き続き、節水の呼びかけと、漏水チェック早期発見
不具合低減	○	目標達成できた。	10件未満	低減に努力する

⑦-2-1環境経営目標の実績、及び環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計（岩手一関工場）

環境経営方針の項目	達成結果	評価	実績値	次年度計画
二酸化炭素の排出量削減	×	生産量は横ばいだが電気使用量が増加した。 漏電による停電が数回発生しているのが原因の一つとして考えられる。 漏電確認装置の設置を検討中。 灯油使用量減少についてはジェット式のヒーター使用が減った為。	総量 (k g -CO2) 742,333 原単位 (k g -CO2)/百万円 181	生産状況などの影響があるが 低減活動を継続する
一般廃棄物の排出量削減	○	使用量減少	491kg	引き続き、低減活動を継続する
産業廃棄物の排出量削減	×	廃油の排出量が発生し増加しました。	3.84 t	引き続き、低減活動を継続する
排水量の削減	×	従業員増加の影響。	983 m ³	引き続き、節水の呼びかけと、漏水チェック早期発見
不具合低減	○	目標達成できた。	10件未満	低減に努力する

⑧環境関連法規等の遵守状況の確認

及び、評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

評価日 2025年2月14日

作成：評価者 竹本光幸

分類	法令規則の名称	内容	遵守状況	本社	高岡	額田	一関	結果	
環境保全	騒音規制法	第3種区域(本社：市街化調整区域 高岡：準工業区域 額田：岡崎市の協定による 第4種区域（一関）	遵守	○	○	○	○	○	
		特定施設の届け出（プレス機、コンプレッサー）	遵守	○	○	○	○	○	
		*環境保全に関する協定 騒音測定・公害防止統括者選任	遵守	○	○	○	○	○	
	振動規制法	第2種区域(本社：市街化調整区域 高岡：準工業区域 額田：岡崎市の協定による 第2種区域（一関）	遵守	○	○	○	○	○	
		特定施設の届け出（プレス機、コンプレッサー）	遵守	○	○	○	○	○	
		*環境保全に関する協定 振動測定・公害防止統括者選任	遵守	○	○	○	○	○	
	アイドリングストップ条例	自動車の駐停車時、アイドリングストップ	遵守	○	○	○	○	○	
リサイクル	自動車リサイクル法	車検又は買い替え時リサイクル料の支払い	遵守	○	○	○	○	○	
	家電リサイクル法	小売業者へ引き渡し 再商品化の料金支払い義務	遵守	○	○	○	○	○	
廃棄物	廃棄物処理法	廃棄物置き場の保管基準の遵守	遵守	○	○	○	○	○	
		産業廃棄物の委託契約の締結	遵守	○	○	○	○	○	
		マニフェ スト	交付 収集運搬、処分委託都度	遵守	○	○	○	○	○
			照合 収集運搬、処分委託都度	遵守	○	○	○	○	○
			5年間保管	遵守	○	○	○	○	○
		産業廃棄物処分場 現地確認（優良事業所）	遵守	○	○	○	○	○	
産業廃棄物管理票の交付状況等報告	遵守	○	○	○	○	○			
加工油など	水質汚濁防止法	事故発生時に直ちに通報の義務 油水分離施設設置（定期点検 汚泥処理）	遵守	○	○	○	○	○	
水質	浄化槽法	法定点検	遵守	○	○	○	○	○	
		保守点検・清掃	遵守	○	○	○	○	○	
危険物	消防法	灯油の少量危険物は指定数量1,000ℓの 5分の1以上（200ℓ以上）	遵守	○	-	-	○	○	
ガス関連	高圧ガス保安法	液化炭酸ガス製造施設届出 取扱い上の技術的基準の遵守	遵守	-	-	○	-	○	
	フロン排出抑制法	修理時、廃棄時に登録業者委託 スポットクーラー、業務用エアコンの設置 フロンガス使用機器の簡易定期点検・記録	遵守	○	○	○	○	○	

●違反、訴訟等の有無

環境関連法規につきましては現在違反はありません。

過去3年間とも、違反、訴訟等は、ありません。

⑨代表者による全体の評価と見直し・指示 作成日 2025年2月24日

項目	見直しに必要な情報 (管理責任者の報告、従業員の提案含む) 内容	代表者による 全体の評価と見直し指示	変更の必要性の有無
環境経営方針	環境経営方針は、適切か	環境経営方針を適切に守り、環境負荷低減、環境に配慮した製品づくりは、出来ていると思います。 今後も、環境負荷（不具合低減を含む）活動を継続してもらいたい	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
環境経営目標 環境経営活動計画	環境経営目標、環境活動計画の達成率は	CO2総排出量の9割以上を電力使用量が占める。 使用量は生産量とも相関があるが、小さな節電意識が結果となり、CO2削減につながる事を常に感じてもらいたい。	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
実施体制	実施体制は適切か	環境管理責任者は事務局竹本氏が担当し牽引。	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
その他	環境負荷に大きな変化はないか 環境への取組状況に変化はないか	・変更なし、継続推進すること ・法令違反・苦情 0件 環境負荷に大きな変化はないが 少しずつ省エネ設備の導入や環境負荷の削減、公害防止などに努め 地域住民に迷惑をかけない企業として改善活動を継続してもらいたい。	

代表取締役社長 高木 芳太郎